



2021年5月12日

各 位

会社名 ナ イ ス 株 式 会 社
代表者名 取締役社長 杉田理之
(コード番号 8089 東証一部)
問合せ先 取締役管理本部長 木口直克
(TEL. 045 - 521 - 6111)

通期業績予想と実績との差異
及び配当予想の修正（創立70周年記念配当）に関するお知らせ

当社は、2020年11月2日に公表しました2021年3月期通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において2021年3月31日を基準日とする配当につきまして、配当予想を修正する決議（創立70周年記念配当）を行いましたので、併せてお知らせいたします。

1. 連結業績予想と実績との差異について

(1) 2021年3月期 連結業績予想と実績（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 210,000	百万円 3,300	百万円 2,700	百万円 2,000	円 銭 213.29
実績値 (B)	214,069	4,493	3,942	2,017	216.09
増減額 (B-A)	4,069	1,193	1,242	17	
増減率 (%)	1.9%	36.2%	46.0%	0.9%	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	251,475	1,203	357	△3,787	△403.85

(2) 差異の理由

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の抑制等による、住宅業界における消費や投資の落ち込みを背景に、新設住宅着工戸数の減少が連結業績へ与える影響を鑑み、当社といたしましては、収益性の改善に努めてまいりました。

建築資材事業においては、オンライン受発注システム「ナイスアドバン」の活用強化や、業界初となる木材の販売促進を目的としたウェブによる展示会「木フェス™」を開催、また、住宅事業においては、インターネットやバーチャル・リアリティー映像を活用した営業活動への転換など、ウィズコロナ時代における需要創造を積極的に推進してまいりました。

これらの取り組みの結果、通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回公表の連結業績予想を上回る結果となりました。なお、特別損失として事業構造改善費用や海外資産の減損損失等を計上しております。

2. 2021年3月期配当予想の修正について

(1) 2021年3月期 配当予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	0.00	15.00	15.00
今回予想	—	30.00 (普通配当15.00) (記念配当15.00)	30.00 (普通配当15.00) (記念配当15.00)
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	0.00	0.00	0.00

(2) 修正の理由

親会社株主に帰属する当期純利益の2021年3月期通期の連結業績につきましては、前述のとおり、収益性の改善に加え、新たな需要創造の各施策に努めた結果、前回公表の連結業績予想を上回ることができました。

ご支援いただきました株主の皆様へ創立70周年を記念して、2021年3月31日を基準日とする株主の皆様へ記念配当15円を実施させていただくことといたしました。

これにより、2020年11月2日付の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて開示いたしました普通配当15円の復配に加え、当期末の1株当たりの配当予想を30円に修正いたします。

当社株式は、不適切な会計処理に伴い、内部管理体制等について改善の必要性が高いと認められたことから、(株)東京証券取引所より2019年9月20日付で特設注意市場銘柄に指定されました。その後、当社は、2020年1月29日に再発防止に向けて「改善計画・状況報告書」を公表し、本計画に基づき、コーポレート・ガバナンス体制の刷新、コンプライアンス意識の醸成とともに、需要創造に向けた施策を実施する一方、子会社の整理・統合、有利子負債の圧縮、不採算事業のダウンサイジングなど、利益を生み出すための体質強化を図り、グループの収益力改善に努めてまいりました。

そして、当社は、2020年9月23日には、内部管理体制確認書を(株)東京証券取引所に提出し、指定解除の可否に係る審査を受けた結果、当社の内部管理体制について相応の改善がなされたと認められ、2020年12月19日付で当社株式の特設注意市場銘柄の指定が解除されました。

こうした取り組みの結果、前述のとおり、通期の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前回公表の連結業績予想を上回ることができ、また、配当につきましても、復配・70周年記念配当予想とさせていただくことができました。これもひとえに株主、投資家及び関係者の皆様からの多大なるご支援、ご厚情の賜物と心より深く感謝申し上げます。

当社は、今後も引き続き、コーポレート・ガバナンス体制と企業風土の再構築を図り、収益力の改善・強化を通じて企業価値の向上を目指してまいります。

以上